



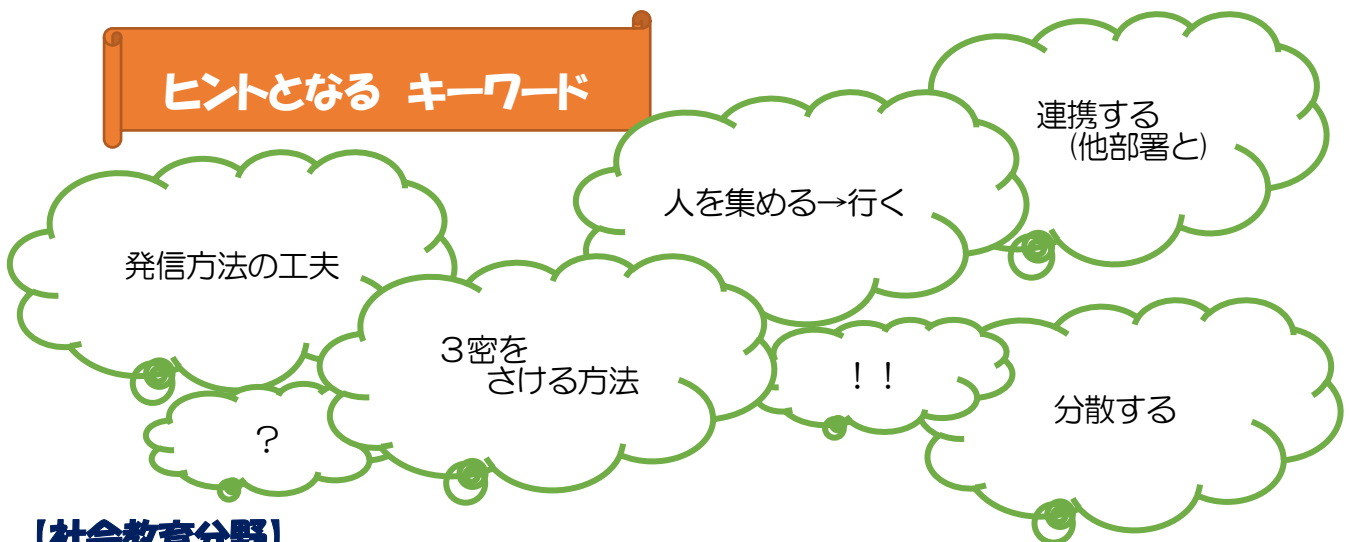
# マナビィつうしん

令和2年9月23日(水)

## 市町村訪問 お世話になりました

6月より始まった市町村訪問を、8月31日をもって無事全市町村終えることができました。大変お世話になりました。今年はコロナ禍の中、あいさつ回りもできず、担当者会も中止になった中、こうやって訪問させていただき、顔を見て話をさせていただくことが大変ありがたかったです。また、少しずつ事業が始まる中で、工夫をしながら行っている様子や、やむを得ず中止にしたり別の方向を探ったりしている様子等、ご苦労の中にも一歩でも前に進もうとされている姿に触れることができ、大変うれしく心強く思いました。市町村によって事情が違うので、すぐに役に立てるかどうかは分かりませんが、生涯学習推進という同じ役割をもった者同士がいろいろな思いをもって進めている所からは、たくさんのヒントが見えてくるように感じました。ぜひ、目を通していただいて、明日への手がかりにさせていただければと思います。

### ヒントとなる キーワード



### 【社会教育分野】

#### ① 公民館講座について

緊急事態宣言が解除されてから徐々に講座が行われるようになりましたが、これまでと同じように進めることは難しく、3密を避け、内容や方法を工夫して行う姿が見られました。「**コロナだからやらない**」から「**コロナの中だからこそやれることはないか**」という思いが大事だと教えていただきました。何より地域住民の方から「講座はまだやらないのか」との声を聞くこともあり、何とかやれることはないかと熟考し、工夫しようとする熱い思いを感じました。

- 例えばこんな講座…
- ・ケーブルテレビ、Zoom を活用して発信（英会話・料理等）
  - ・コロナに生かせる内容を提供（マスクづくり）
  - ・室内での講座を室外でできる内容に（野菜作り・古道整備等）

#### ② コミュニティスクールについて

信州型コミュニティスクールの良さを活かしながら、国型のコミュニティ・スクールへの移行を

どうするか、市町村の状況に合わせて、方向を探っていただいている様子が分かりました。数年後に義務化になった場合を考えながら、できることを進めていただきたいと思います。すでに学校運営協議会の設置について、規則作りや委員の選定などを一緒に考えた市町村もあります。困っていること、相談したいこと等、お気軽にお問い合わせください。

## 【生涯スポーツ振興分野】

8月までのスポーツ事業（運動会・住民が集うイベント）は、全ての市町村で中止の措置をとっています。そんな中、地域づくりとして欠かせない運動会を何とか実施したいという強い願いを持っている地区があったり、運動会の代わりにニュースポーツ体験等のイベントを考えたり等「**今、できること**」「**今だからこそできる改革**」を進める市町村が増えています。以下のような工夫をしている地区もあります。

例えばこんな講座…○3密を避けられるウォーキングを活用した事業

- 地域の史跡をめぐり、そこへ行くと答えがわかるクイズを作成。景品は運動会用に準備したものを活用
- 古道の散策

○ケーブルテレビやネット配信、広報・公民館報を活用した事業

- ケーブルテレビで体操やサークル活動をしている団体の活動の様子を紹介
- 村内放送でラジオ体操を流す
- 公民館報とリンクさせたリーフレットを配布
- 村の歌に合わせた振りをつけて健康増進体操を YouTube で配信

## 【社会人権教育分野】

人権にかかわる講座を企画してもなかなか人が集まらなかったり、人権の講座を企画できなかったりする悩みを抱えている市町村が多くありました。新たに「人権」を表に打ち出して計画しなくても、**これまで行っていた講座の中で人権を意識した視点を持って運営する**ことで、参加された住民の人権意識が見えてきます。そこでとらえた人権にかかわる発言や姿を広報等で発信していくというのも私たちができる取組の一つになります。また、外部からの講師を呼ぶことがこのコロナ禍ではまだ厳しい状況にあります。社会人権教育担当主事がお役に立てる場がありましたら、お気軽にお声がけください。

## シトラスリボンプロジェクト

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ感染しても地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指すプロジェクトです。



長野県はシトラスリボンプロジェクトに賛同し、心身ともに安心した暮らしを続けられる社会を目指します